

和地ひとみレポート No.98

昨年度、市の予算はどのように執行されたのか？

■平成24年度決算特別委員会

…9月3日から25日まで開催されていた25年第3回定例会にて平成24年度決算について審議する特別委員会が開催されました。決算特別委員会は代表の議員のみが参加し、審議を行う自治体もあるなか、当市においては議員全員が特別委員となり審議を行います。

平成24年度決算は尾崎市長が初めて一から手がけ、提案された予算を執行した結果のもの。決算特別委員会の冒頭の市長からの「決算に伴う市政報告」では各会計の概要報告のあと、全般に関して右記のコメントが出されました。

…2日間にわたり様々な審議が行われたあと、賛成多数で平成24年度決算は認定されました。決算の内容は市報並びに市のホームページでも発表されますが、ここでは他自治体が行なっている『市民目線での決算報告』を参考に和地ひとみが作成した概要をお知らせします。

(裏面参照)

また、今回の決算に対し、和地ひとみの所属する会派から賛成の立場で行った討論の内容は下記のとおりです。

～平成24年度決算に伴う市政報告より～(趣旨)

平成24年度は市長就任の2年目の年度であったが、東日本大震災の影響が残る中、また、景気の先行き等が不透明な中、観光事業を推進するなど、市の活性化に努めるとともに持続可能な市政の実現に向け、市政運営を行ってきた。歳入では「第4次行政改革大綱」に基づく取組みとして、コンビニ収納等の新たな対策に取り組むことにより、収納状況の改善が図られ、市税については、前年度の決算水準を上回る額となった。また、歳出においては、事務事業の見直しによる経費の抑制や削減に努めたが、障害者福祉費や児童福祉費等の扶助費は増加を続けており、今後についても、その動向が市財政にとって懸念されるところとなっている。市財政については、決算収支の積立基金の増加等により、全体的に健全性が維持されていると考えるところだが、扶助費等の経常的経費は増加を続けており、市税が抱える課題の対応にあたっては、その財源の確保に今後も厳しさが見込まれるところだ。私としては、今後においても行政改革の取組みを着実に実行し、持続性のある行財政運営の定着に努め、開かれた市政の中、市の活性化と市民サービスの向上を図ってまいりたいと考えている。

■和地ひとみ所属会派の平成24年度決算に対する討論内容

平成24年度東大和市一般会計決算他5特別会計決算に賛成の立場で討論を行います。

さて、今回の決算は、尾崎市政が初めて提案された予算に対するものであります。

景気の低迷による個人所得の減少、震災や円高等の影響といった現実の壁に直面し、市長ご自身の理念・理想と現実のすり合わせに腐心されながらも、観光事業の推進や庁舎耐震診断などの独自施策を行うとともに、タウンミーティングを積極的に行うなど、説明責任を全うしようとした姿勢は評価できるものであります。

ただ、あえて苦言を申し上げるならば、このほか、こまごまとした独自施策は認められるものの、列挙した観光などの施策以外は、これぞ「尾崎市政」とうならせられる施策は少なかったことは残念である、ということでもあります。

また、今後は、もっとリーダーシップを如何(いかに)なく発揮され、前市政が積み残した課題を、果敢に、徹底的に、そして、一気呵成に解決されることを望みます。

さらには、昨年も申し上げましたが、現状に留まることなく、もっと自主財源を生み出す施策を講じていくこと、公会計の整備を早急に行うことを求めて、討論と致します。

※万円単位 ※()内は前年度比

	【収入】	【支出】	
全会計	469億9,863万円 (2.9%増)	453億4,371万円 (2.4%増)	
一般会計	292億4,424万円 (1.8%増)	280億3,203万円 (1.6%増)	教育、福祉、医療や道路、公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計
特別会計	177億5,439万円 (4.8%増)	173億1,168万円 (3.8%増)	国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、土地の区画整理、下水道事業など一般会計と区別する必要がある会計

■一般会計歳入(≒収入)について

⇒家計(500万円)に置き換えると

市税	121億374万円	41.4%
使用料・手数料など	2億3350万円	0.8%
繰入金	3億2466万円	1.1%
国・都支出金・地方交付税など	126億6275万円	43.3%
市債	22億103万円	7.5%
その他	17億1856万円	5.9%
合計	292億4424万円	100.0%

給料	¥2,070,000
パート収入	¥40,000
貯金の切り崩し	¥55,500
親からの援助	¥2,165,000
借入金	¥376,000
その他利子収入など	¥293,500
合計	¥5,000,000

■一般会計歳出(≒支出)について

人件費	給料など人にかかる経費	42億44,142千円	15%
扶助費	福祉や医療などにかかる経費	94億74,238千円	34%
公債費	借金の返済にかかる経費	18億99,761千円	7%
投資的経費	施設や公園・道路の整備にかかる経費	17億83,179千円	6%
物件費	光熱水費や消耗品などにかかる経費	36億6,480千円	13%
繰出金	特別会計へ支出する経費	33億96,281千円	12%
積立金	貯金	6億1,303千円	2%
その他	その他	30億26,653千円	11%
合計		280億32,037千円	100%

一般会計の 市民一人当たりの歳出は	¥50,047
	¥111,720
	¥22,402
¥330,554	¥21,027
※H25年 3月31日の 住民基本台帳 人口 84,671人	¥42,528
	¥40,049
	¥7,091
	¥35,690
	¥330,554

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
 ✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
 〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102